
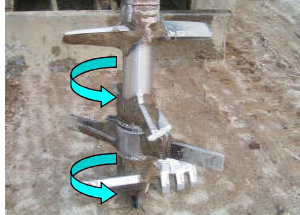

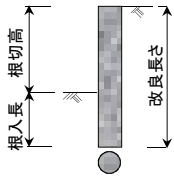
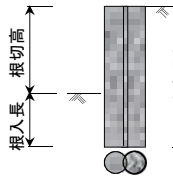







工法	柱列式連続壁工法(正逆方向回転方式)			一般工法(単一方向回転方式)		
攪拌翼形状		<p>柱列式連続壁工法の攪拌翼は2重管軸による2翼×2段方式であり、正逆方向に回転する方式である。</p> <p>正逆方向回転により、低添加量の場合でも土が強制攪拌され共回り現象を防止し、なおかつ正逆方向回転なので連続壁に必要なせん断に強い改良体が築造される。</p>		<p>一般工法の攪拌翼は単軸による3翼×3段方式であり、単一方向に回転する方式である。</p> <p>単方向回転により、低添加量では攪拌不足の現象が生じる恐れがある為に、高添加量になる事がある。単一方向回転では、改良体のバラツキが生じる為、土留壁に必要なせん断が弱い可能性がある。</p>		
品質・出来形		<p>柱列式連続壁工法での改良体出来形。</p> <p>コア採取率：70%～90%</p>		<p>一般工法での改良体出来形。</p> <p>コア採取率：30%～70%</p>		
設計・計画図	<p>断面図</p>  <p>平面図</p>  <p>公的機関にて品質証明および施工実績から独自の設計手法を確立。その為、安全を考慮しつつ本数を減らす事ができコスト削減が出来る。</p>	<p>断面図</p>  <p>平面図</p>  <p>一般工法では、施工実績が少なく土留壁に必要なせん断が弱いため、設計段階で本数が増え高添加量の施工となる為に、コスト増加となる。</p>				
施工機種	<p>DM025(0.25m³級)</p>  <p>DM070(0.7m³級)</p>  <p>DM120(1.2m³級)</p> 	<p>DHJ-12(12t級)</p>  <p>DHJ-40(40t級)</p>  <p>DH-658(120t級)</p> 